

1 談話収集調査と文字化の概要

1-1 文字化を行った調査地点

「第一部」の「2 調査の概要」で示した「2 調査の概要」の「2-1 方言談話収集調査の概要」で示したうち、本「第二部」で取り上げる被災地方言談話の収集調査を行った7地点と調査内容、文字化等担当者等は下記のとおりである。次々節「3 各地の方言談話」の順番にしたがって示す。なお、談話調査地点は大震災発生時点の話者の住所に同じである。また、文字化等担当者は原則として調査者1名であるが、北茨城の方言の特色についてのみ、下記(2)のとおり複数で担当した。

(1) 水戸市

談話調査地点：水戸市下国井町（しもくにいちょう）

調査年月日と調査内容：

平成24(2012)年9月25日(火)…談話A(自由会話)

平成24(2012)年9月26日(水)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査

*補完調査は、平成25年3月に電話で実施。

話者：男性1名、女性1名

調査員：杉本妙子

文字化等担当者：杉本妙子

(2) 北茨城市

談話収録地点：北茨城市大津町（おおつちょう）

調査年月日と調査内容：

平成24(2012)年11月13日(金)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)

*補完調査は、平成25年2～3月に電話で実施。

話者：女性4名

調査員：杉本妙子

文字化等担当者：杉本妙子（当該地域方言の特色については、佐々木冠および杉本妙子）

(3) 高萩市

談話収録地点：高萩市高戸（たかど）

調査年月日と調査内容：

平成24(2012)年9月27日(木)…談話A(自由会話)

平成24(2012)年9月29日(土)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査

平成25(2013)年2月13日(水)…補完調査

話者：女性2名、男性1名（補助的話者として）

調査員：佐々木冠、杉本妙子

文字化等担当者：佐々木冠

(4) 日立市

談話収録地点：日立市本宮町（もとみやちょう）・東町（ひがしちょう）・宮田町（み

やたちょう)

調査年月日と調査内容：

平成 24 (2012) 年 8 月 29 日(水)…談話A(自由会話)

平成 24 (2012) 年 8 月 30 日(木)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査

平成 24 (2012) 年 8 月 31 日(金)…談話A(自由会話)

平成 24 (2012) 年 9 月 27 日(木)…補完調査

話者：男性 2 名、女性 1 名

調査員：佐々木冠、杉本妙子、佐藤高司

文字化等担当者：佐々木冠

(5) 大洗町

談話収録地点：東茨城郡大洗町

調査年月日と調査内容：

平成 24 (2012) 年 10 月 22 日(月)…談話A(自由会話)

平成 24 (2012) 年 10 月 23 日(火)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査

* 補完調査は、平成 25 年 2 月に電話で実施。

話者：女性 3 名

調査員等：新井小枝子、杉本妙子

文字化等担当者：新井小枝子

(6) 神栖市(旧神栖)

談話収録地点：神栖市奥野谷 (おくのや)

調査年月日と調査内容：

平成 24 (2012) 年 9 月 6 日(木)…談話A(自由会話)

平成 24 (2012) 年 9 月 7 日(金)…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査(アクセント調査を含む)

平成 25 (2013) 年 2 月 25 日(月)… 補完調査

話者：男性 3 名

調査員：杉本妙子

文字化等担当者：杉本妙子

(7) 神栖市波崎

談話収録地点：神栖市波崎 (はさき)

調査年月日と調査内容：

平成 24 (2012) 年 9 月 11 日…予備的調査、打合せ

平成 24 (2012) 年 9 月 12 日…談話A(自由会話)

平成 24 (2012) 年 9 月 13 日…談話A(自由会話)、談話B(場面設定)、当該地域の方言の特色に関する調査(アクセント調査を含む)

平成 25 (2013) 年 2 月 10 日(日)… 補完調査

話者：女性 3 名、男性 1 名 (補助的話者として)

調査員：佐々木冠、杉本妙子

文字化等担当者：佐々木冠

1-2 調査の目的、方針、内容

茨城県における談話収集調査は、宮城県(東北大学)が作成した「被災地方言の談話収集調査概要」「宮城県沿岸方言談話資料作成調査票」をもとに作成した「被災地の方言調査・方言談話資料の作成(茨城県)」「茨城県方言談話資料作成 調査票 2012」にしたがって調査を行った。茨城県で用いた前者は、「調査の目的」と調査の方針・内容として「調査対象地域の設定と話者選定について」「談話の話題・形態」「収集する談話の種類(1. 談話A:自由会話, 2. 談話B:ロールプレイ会話)」等を収めたものである。後者は実際の調査に用いた調査票であるが、調査項目は前者にも収めてあるので、ここでは前者によって今年度の談話収集調査の目的、方針、内容を述べる。〔注記〕

(1) 目的

調査の目的とそのための調査は以下のとおりである。

- ①消えゆく恐れのある方言の記録 → 談話A
- ②被災地への支援活動の一環としての調査 → 談話B

(2) 対象地域の設定と話者選定

○対象地域の設定について

- ・大まかな範囲は、茨城県沿岸部(被災の大きかった地域)を中心に一部内陸(水戸市等)も調査範囲とする。また、位置的に他県地域との関係も考慮する。
- ・具体的な地点は、「北茨城、高萩、日立、大洗、鹿嶋、旧神栖、波崎」および「水戸」とする。なお、以下の観点に照らして、より適切な地域があれば、地点変更も考える。

(A) 観点1: 重要度・緊急度を判定して調査地点を絞り込む

- a. その方言の方言学的価値…記述的、地理的、歴史的、その他の観点からの検討
- b. その方言についての先行研究の状況…『日本語年鑑』等の文献目録などにより検討
- c. その地域の被災状況…被害の程度、避難者の割合・避難先・避難形態、その他の観点からの検討

(B) 観点2: 作業のやりやすさについても考慮する(①と同時に)

- a. 協力機関、協力者の状況…行政機関への協力依頼(茨城県教育庁文化課、また同課をとおして各地点に調査協力依頼)、方言・民俗・文化財保存活動を行っている団体等との連携の可能性など
- b. 交通、宿泊、その他の状況

○話者について

- ・各地域生え抜きで、70歳前後の男女各1名、計2名を原則とする
 - ※話者からの要望があれば、3名での自然談話(=談話A(自由会話))収集や、男性2名、女性2名の談話収集も検討する
- ・杉本・佐々木で担当市町村教育委員会などに上記話者の条件を伝えて話者紹介を打診する
 - ※震災に関する話に抵抗を感じる方もいらっしゃるので、話者選定の際に考慮する

(3) 談話の話題・形態

上記(1)に掲げた①②の目的を踏まえて考える。

○話題

- ・談話A（自由会話）では、大まかに話題を設定し、後は話者に自由に会話してもらう。
 〈設定する話題〉（例）
 震災の体験、津波災害、原発事故など／地域の伝統文化に関すること／方言に対する思い入れ、思い出、提言など
- ・談話B（場面設定会話）では、現地の言語生活を記録するような詳細な設定で行う。すなわち、言語行動の種類に基づいて場面を設定（あいさつ、依頼・受託・断り、感謝・謝罪、…）する。具体的な場面は以下のとおり。

○設定場面 ※基本的に友人同士 A、B の会話

〈あいさつ〉（出会い→別れの一連の会話 (1)(2)(3)共通)

(1) 朝、道端で知り合い（友人）に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

(2) 昼、道端で知り合い（友人）に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

(3) 夜、道端で知り合い（友人）に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

※昼と夜の間の「夕方」のやり取りの有無を確認し、夕方のあいさつがあるときは、(1)～(3)と同様に会話する。

〈労い〉

(4) A が仕事に精を出す B と会い、B の労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

〈勧め〉

(5) A が、仕事をしている B に、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

〈訪問時の声掛け〉

(6) 昼間、A が B 宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

〈借用の依頼と受諾〉

(7) A が B にスコップを借りるときのやりとり。（B が貸す場合。）

※貸し借りするもの（スコップ）は適宜変えてもよい。(8)(9)も同様。

〈お礼〉

(8) A が借りたスコップを B に返しに行ったときのやりとり。

〈破損の謝罪・許容・不満〉

(9) A が B に借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) B が構わないという場合。

(9-2) B が破損に対して不満を述べる場合。

〈誘いと断り〉

(10) A が B を近くの物産市に誘う際のやりとり。（B が断る場合。断る理由は、家族と外出の先約。）

※行き先（近くの物産市）は適宜変えてもよい。断る理由も同様。

〈お見舞い〉

(11) 体調を崩している B に、A が体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) B の調子がいい場合。

(11-2) B の調子が悪い場合。

<申し出>

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないという B に、A が「(私が) 片付けてやろう」というときのやりとり。

<禁止>

(13) 片付けの最中に、大事な写真を A が間違っ捨てようとしているときに、B がそれを制止してどのようにいうか。(A、B どちらの場合も聞く。男女差を記録。)

※A が間違っ捨てようとするもの(写真)は、適宜変えてもよい。

以上の調査の方針、調査項目等にしがって、調査を実施した。

1-3 文字化の方針

文字化に関しては、次のような方針で行った。

- ・各地点で収録した談話 A については 10 分程度を文字化する。
- ・文字化は 1 つの話題でも複数の話題でもよい。
- ・具体的な文字化の箇所については、地点担当者が決定する。
- ・談話 B については全て文字化する。
- ・文字化の具体的な記述の仕方については、川越めぐみ氏作の文字化マニュアルにしたがって行う。(次節で具体的に示す。) なお、この方針は 5 県の関係者で行った研究打ち合わせ会(平成 24(2012)年 9 月 9 日、東北大学)での話し合いによる。

[注記]

談話収集調査地点においては、当該地域の方言の特色を把握するために、音声・音韻、文法、語彙に関わる調査票(佐々木冠作成)と神栖市 2 地点で用いたアクセントに関わる調査票(杉本作成)を用いた調査も行ったが、それについては省略する。